

富美岡荘指定居宅介護支援事業所

带状疱疹

带状疱疹は、水疱瘡の原因ウイルスである水痘带状疱疹ウイルスに感染して発症する病気です。初めて感染した時は水疱瘡を発症します。水ぼうそうが治った後、水痘带状疱疹ウイルスは後根神経節と呼ばれる部位に潜伏し、悪さをすることなく年単位で潜んでいます。しかし、ストレスや疲れなどがきっかけとなりウイルスに対する抵抗力が低下すると、水痘带状疱疹ウイルスが再活性化して带状疱疹を引き起こします。

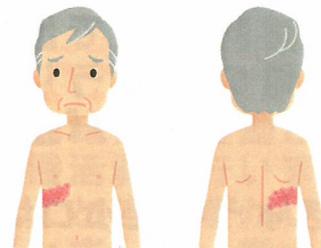
初期症状はピリピリとした皮膚の痛みであることが多く、必ずしも見た目の皮膚変化は伴いません。しかし、時間が経つにつれて徐々に赤みや水泡形成を伴うようになります。発症後1週間ほどは皮膚症状が悪化することが多く、皮膚症状は肋間神経に一致した胸部であることが多いですが、それ以外にも顔面を含めて前進どこにでも現れます。

ハント症候群

顔面神経に関連して水痘带状疱疹ウイルスが悪さをすると、引き起こすことがあります。ハント症候群では、目を上手く閉じられない、口をうまく閉じられず食べ物が口からこぼれる、難聴、めまい、味覚の低下などの症状が見られます。

～介護の悩みをお聞かせください～

介護の「悩み」には、人には言えないことも多いと思います。一人で抱え込まないで、気軽にご相談ください。私たちは、皆様の「心の声」を応援します。



带状疱疹は、50歳以降で発症することが多い病気です。しかし、若い方であっても疲れが蓄積すると带状疱疹を発症することがあります。

带状疱疹の治療方法は、皮膚所見の重症度や部位に応じて決定されます。原因となる水痘带状疱疹ウイルスに特化した抗ウイルス薬を用いた治療です。内服薬や点滴薬などの治療法があります。また重症化して入院治療が必要になるケースもあります。



带状疱疹に罹患した方に話を伺うと「痛痒かった」という話もありました。そのまま放っておくと悪化するので早めの医療機関の受診をお勧めします。

* 一部HP引用

富美岡荘居宅 苦情解決責任者 石井千枝子
苦情受付担当者 橋本佳明